

研修会報告

令和5年10月21日

文責：鎌田将矢

研修会テーマ「免疫分析装置の基礎と検査データの読み方を学ぼう」

開催日時 令和5年10月21日（土） 14:00～16:00

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 仙台医療センター 播磨晋太郎 技師

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 42名 賛助会員 2名

合計 44名

講演1「免疫学検査の基礎～化学発光法の原理と新たな測定法の紹介～」

H.U. フロンティア株式会社 テクニカルサポート課 奥野武彦 先生

講演2「日当直で遭遇する異常データとその対応」

東北医科薬科大学病院 検査部 千田和 技師

講演3「RCPC（検査データの読み方）」

東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 平田和成 技師

16:00 終了

内容

今回の生物化学分析部門は「免疫分析装置の基礎と検査データの読み方を学ぼう」というテーマで、新人および新しく配属された方向けの基礎的な内容で企画、開催した。

日常で使用している免疫分析装置が機器内部でどのように測定し、検査値を報告しているか、講演1では免疫学的検査の基本と測定におけるピットフォール、非特異反応を中心にH.U. フロンティア株式会社テクニカルサポート課、奥野武彦先生に講演頂いた。免疫学検査の基礎～化学発光法の原理と新たな測定法の紹介～と題した講演では、ブラックボックスになりがちな免疫血清検査の測定基本部分を復習することができた。また、非特異反応の解析について、試薬側・検体側・分析装置での要因と要因別にまとめて丁寧に解説していただき理解が深まった。

講演2では日当直で遭遇する異常データとその対応と題して千田技師に講演いただいた。異常データ遭遇時の基本的な考え方として、異常データが患者試料由来のものか分析上由来のものか、実際に使用しているフローチャートをもとにどのように考えていくか説明いただいた。その後に症例も提示されフローチャートを使用しながら丁寧に解説していただき、すぐにでも現場で活用できる内容だった。

講演3では検査データの読み方として平田技師にRCPCを講演頂いた。提示していただ

いた1症例をもとに RCPC の基本的な考え方と検体性状によって影響を受けてしまう項目についても解説いただいた。1つの検査項目が疾患の原因と重症度判定に使用できるなど診療ガイドラインをもとに説明いただき非常に興味深くためになる内容だった。

今回の研修会も Zoom ウェビナーを用いた Web 研修会であった。アンケート結果も踏まえながら、今後も宮城県臨床検査技師会員が求める内容で楽しく学べる研修会を企画したい。